

# 人権だより

八幡浜高校 人権委員会 令和5年度 10月号

中間考査も終わり、秋の深まりを日々実感する時期になりました。朝晩の冷え込みが厳しくなる時期ですが、体調に気を付けて元気に過ごしましょう。

それでは8月20日（日）に人権委員と家庭クラブが参加した**こども食堂「のきした」**での活動を報告します。

今回のこども食堂では私たちが中心となり、縁日をテーマに催し物の企画を考え、子どもたちとのコミュニケーションを図りました。

- ・ スーパーボールすくい
- ・ ボウリング
- ・ ボール当てゲーム
- ・ ポップコーン作り



8月20日の活動では上記の催しを行いました。子どもたちにとっては、夏休みの良い思い出になったと思います。私たちも縁日気分を味わうことができ、とても素敵な一日になりました。

## 〈学習支援〉

学習支援では、年下の子に勉強を教える経験があまりないため、初めはどう話しかければよいか分からず苦戦しました。子どもたちに「わからないところはない?」「大丈夫?」と尋ねながら、自分なりに勉強を教えることができました。一生懸命問題を解いている姿を見て、お手伝いできて良かったと思いました。

## 〈縁日での活動〉

自分たちで企画を考え、子どもたちと交流することは今回が初めてでしたが、思っていた以上にたくさん子どもたちが来てくれて驚きとともに嬉しさを感じました。さらに、人手不足で困っていたときに、遊びに来てくれた子どもの保護者の方が手伝ってくださり、地域の方々の優しさや温かみを感じる機会にもなりました。また、幼児から小学生まで幅広い年代の子たちが楽しそうに遊んでいる姿に自然と笑みがこぼれ、私たちまで幸せな気持ちになりました。やはり子どもは楽しく遊ぶ姿が一番だと改めて実感しました。また機会があれば、積極的に参加したいです。

〈人権問題について〉

今回の活動は、ヤングケアラーや貧困といった人権問題について考える機会になりました。今までは、これらの課題をあまり身近なもののように感じていませんでした。特に、ヤングケアラーについては聞いたことはあるものの、よく知らなかったため、今回の経験を機にヤングケアラーについて調べてみました。

ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話や介護などを日常的に行っている18歳未満の子どものことを指します。しかし、日本における認知度はかなり低いようです。また、本人や家族に自覚がない場合が多いため、支援が必要であっても、表面化しにくいといった課題もあるようです。

「のきした」での活動を通して、こども食堂は低価格で食事を提供でき、人とのコミュニケーションがとれる居場所となることでヤングケアラーの精神的な負担やストレスを軽減できる効果があることに気付きました。子どもたちが安心して過ごせる社会にするためには、まず私たちがヤングケアラーに対する意識を高め、必要な支援につながるきっかけをつくれるような体制を整えていくことが重要です。この記事を読んでこども食堂やヤングケアラーに少しでも関心をもっていたらいいなと思います。

## ～人権・同和教育課より～

先日、『MINAMATA—ミナマター』（2020年制作）という映画を見ました。水俣病をテーマに写真を撮映したアメリカの写真家ユージン・スミスをジョニー・デップが演じたドラマ映画です。水俣病は、熊本県の水俣湾近辺でチッソによる工場排水に含まれた有機水銀が原因で発生した代表的な公害病の一つです。当初、水俣病は風土病と恐れられ、空気感染をするという噂が立ち水俣周辺の住民が差別されることも起こりました。その後、水俣病発生やその拡大の責任を問う裁判が起こされ、結果として患者側の勝訴となりましたが、この問題はまだ終わっていません。1977年には国による水俣病認定基準の厳格化に伴い、申請却下が増加しました。2014年には水俣病特別措置法が制定され、今までよりも緩やかな基準で水俣病認定が行われましたが、年代や居住地域によって線引きがなされ、十分な解決策とは言えません。現在でも水俣病認定を巡って裁判が起こされています。患者の高齢化が進む中、一刻も早い救済を望みます。

最後に、緒方正人さんという人物を紹介します。この人は水俣病によって父親を亡くし、補償を求める団体の中心人物でした。緒方正人さんは次のように述べます。「チッソは私であった」と。チッソによる便利な暮らし（チッソはプラスチックの生産も行っていました）を緒方正人自身も享受しており、「近代化」や「豊かさ」を求めたこの社会や私たちもまた、チッソなのであると主張しています。今現在、私たちの便利で快適な暮らしを支えている物の背景には何があるのでしょうか。「今だけ」、「自分だけ」が良ければ本当に良いのでしょうか。私たちがチッソになるか、どうかは私たちの行動にかかっているのです。